



【福島川】 岩下 和史さん撮影  
水面上に湯気のように霧が立ちこめる「けあらし」を福島川で撮影。冷え込みが強まった朝しか見ることができない冬の風物詩である。

うた  
ぐら  
よみ

12の季節

〔短歌〕 串間短歌会選

沿道に人垣つくる ご神幸  
シヤンシヤン馬が メインの行列  
ゆうゆうの森 林喜美子

清めゆく ごとく焼酎 振りかけて  
寝かせる渋柿 良き目醒めあれ  
飢肥 山脇恵乙子

気遣ひの 娘の電話に 秋ゆゑか  
不覚の弱音 こぼしてしまふ  
西小路二区 坂本不二子

お土産は 孫らにもらった 元氣です  
財布の中は あんぐり開く  
上小路 吉開美穂

里山の 色づき染める 薄紅葉  
たわわに実る 柿も色添う  
小路 安山らく

短歌の投稿は  
野邊 俊子さんまで  
(☎7213300)

〔俳句〕 あさひ俳句会選

身心を 解ひて過ごしぬ 小春風  
仲町 藤原淑子

山頂に 藩祖墓あり 石路の花  
仲町 木島幸子

厨子背負ふ 行者に雪の  
散華とも  
仲町 矢野欽子

病む夫の 寢息聞きをり  
夜半の冬  
上町一 又木順子

元日を 鳥翔つ大い  
なるものへ  
上小路 木島サイ子

俳句の投稿は  
本田 幾男さんまで  
(☎7215280)